

103

「昭和天皇拝謁記」を読む

オンライン併用

【会場定員】150名 【オンライン定員】100名 【受講料】2年会員 3,350円 1年会員 3,770円 聴講生5,020円

短期集中 【時間】毎回16時30分～18時00分（計3回）

概要

岩波書店から刊行された『昭和天皇拝謁記』（全7巻）は、初代宮内庁長官の田島道治が昭和天皇とのやりとりを記録した「拝謁記」や田島の日記、書簡などの関連資料を収めた戦後天皇制研究の第一級史料です。この講座では、時系列にとらわれず、「拝謁記」全体から浮かび上がる昭和天皇の新たな人間像に迫り、象徴天皇制の実態について考察してみたいと思います。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	11/7(木)	新百合21ビル B2 多目的ホール	「拝謁記」とは何か。昭和天皇の天皇観、政治・軍事観、戦前・戦中観について。	明治学院大学名誉教授 原 武史
2	11/21(木)		昭和天皇の人物観（皇族や政治家、軍人など）について。	
3	11/28(木)		昭和天皇の神道・宗教観、国土観、外国観、空間認識について。	